

西東京フィルハーモニーオーケストラ 第39回 定期演奏会



指揮：諸遊 耕史

FRANCK

フランク／交響曲 二短調

BERLIOZ

ベルリオーズ／序曲「ローマの謝肉祭」

BRAHMS

ブラームス／ハイドンの主題による変奏曲

2025

12 / 7 (日)

開場 16:30

開演 17:00

タクトホームこもれびGRAFAREホール
メインホール

西東京市保谷庁舎となり(西東京市中町1-5-1)
はなバス&西武バス&関東バス「保谷庁舎」下車

全席自由 1,000円

【チケット取り扱い】

タクトホームこもれびGRAFAREホール 042-421-1919

宮地楽器 アスタ田無センター 042-468-0055

宮地楽器 保谷センター 042-421-4411

未就学児の入場は無料です。車椅子席の用意があります。

車椅子席をご利用の方は、当団へお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】

Tel: 080-5024-5253 (西田)

Mail: ntp-koho@nishitokyo-phil.com

HP: <https://nishitokyo-phil.com/>

FB: <https://www.facebook.com/NishitokyoPhil/>



<主催>西東京フィルハーモニーオーケストラ

<後援>西東京市・西東京市教育委員会・タクトホームこもれびGRAFAREホール
西東京市文化芸術復興会・エフエム西東京・宮地楽器・三幸タクシー

Nishitokyo Philharmonic Orchestra

The 39th REGULAR CONCERT

指揮：諸遊 耕史 Koji Moroyu



群馬県高崎市生まれ。桐朋学園大学卒業。指揮を秋山和慶、山本七雄、高階正光、湯浅勇治、ピアノを渡辺洋子、塩野圭子の各氏に師事。新国立劇場、東京室内歌劇場、日生劇場、藤原歌劇団、日本オペラ協会、首都オペラなどで副指揮・合唱指揮を務める。これまで、江東オペラ等のオペラ団体にて、モーツァルト、ヴェルディ、プッチーニ、ヴェリズモ、独仏物のオペラ主要レパートリーに加え、夕鶴や曾根崎心中等の和物・現代物まで幅広くオペラを指揮している。

オーケストラ・合唱・吹奏楽の指導やソリスト・アンサンブルの伴奏でも活動し、近年はこうもり、メリーウィドウ等オペラの小編成編曲も手掛けている。

西東京フィルとは、第37回定期演奏会以来、2度目の共演となる。



西東京フィルハーモニーオーケストラ

西東京フィルは、管弦楽合奏を通じて音楽に親しむこと、地域の音楽文化に貢献することを目的として1998年6月に誕生し、創立28年目を迎えました。第39回定期演奏会となる今回は、指揮者にオペラなどの演奏に造詣の深い諸遊耕史氏を再びお迎えいたします。

プログラムの一曲目は、ベルリオーズ作曲の序曲「ローマの謝肉祭」です。コールアングレによる魅力的なメロディー、イタリア舞曲「サルタレロ」をモチーフとした目まぐるしく躍動するリズムが特徴です。

二曲目に取り上げるブラームスの「ハイドンの主題による変奏曲」は、「聖アントニウスのコラールによる変奏曲」とも呼ばれています。元々はピアノ2重奏曲として書かれたもので、後に管弦楽版が作曲されました。冒頭で提示される荘厳な主題に続き、多彩で起伏に富んだ8つの変奏が展開されます。終曲では主題が壮麗に再現されてクライマックスを迎えます。

メインの曲は、フランスで活躍した作曲家セザール・フランクが、晩年近く（66歳）に作曲した唯一の交響曲で、第1楽章から第3楽章までの3曲で構成されています。第1楽章では重く暗い雰囲気から始まるメロディーが荘厳で華やかに展開します。コールアングレの独奏がリードする優美で流れるような第2楽章のあと、スケールが大きく豪華な最終楽章へ到達します。一見まとまりのない展開もフランクの得意とする循環形式によって、みごと曲全体に統一感を与えています。ぜひお楽しみください。

西東京フィルは、これからも地域に根ざしたアマチュア・オーケストラとして、多くの方々に音楽に親しんで頂けるよう、活動を続けてまいります。

西東京フィルハーモニーオーケストラ 代表 西田克彦